

教科「情報」を含むアイテムバンク式CBT による大学入試の試み

2024年12月7日（土）

13:00～17:00

ハイブリッド開催

アフラックホールUEC + ライブ配信

主催 国立大学法人電気通信大学

後援 独立行政法人大学入試センター

参加費 無料

参考申込締切 12月6日（金）11月29日（金）

【※前日まで締切延長。当日会場申込可※】

<https://forms.gle/AURNBZe355MeE7Dh7>



文部科学省委託事業の概要と電気通信大学における事業内容

大学入学者選抜におけるCBT（Computer-Based Testing）化の推進については、大学入試のあり方に関する検討会議の「提言」（令和3年7月8日）において、多様な方法での出題、採点や試験実施の効率化、成績提供の迅速化、試験の複数回実施など様々なメリットが示されている一方で、大学入学共通テストへの導入については、「（1）全国的に均質で質の高い受験環境の確保（2）トラブルが生じた場合の対応体制の構築（3）新しい試験のあり方に対する受験者を含めた社会全体の理解などの課題の解決」が必要であるとされています。本事業は、こうした背景を踏まえ、大学入学者選抜に関する専門的・実証的な研究能力を有する機関に委託して、独立行政法人大学入試センターからの協力を得ながら、大学入学者選抜におけるCBTによる効果的な試験の実施方法等について検討を行うとともに、高い実施水準が求められる試験のCBTによる実施に向けた取組等を推進するものです。

本事業を受託した電気通信大学では、「情報」、「数学」、「非認知能力」のアイテムバンク（問題バンク）を構築し、CBTを用いて2024年度に学校推薦型選抜および総合型選抜の入試を実施いたしました。また、入試では用いていませんが「物理」、「英語」のアイテムバンクも構築してきました。

本事業におけるCBTを用いた入試の特徴は以下の通りです。

- ① CBTの実施や運営に関する世界標準（ISO/IEC 2007, JIS X 7221）に従い、IRT(Item Response Theory)を用いた問題バンク方式を採用します。世界最高精度の測定精度を持つテスト構成技術を持つ最先端人工知能搭載システムを開発します。
- ② 日本で初めて「情報I」を含むCBT入試を総合型選抜および学校推薦型選抜で実施し、1.実際のプログラミング環境でプログラムを編集・実行しながら解答を求める問題、2.データ解析ツールを用いて実際のデータを分析しながら解答を求める問題など、従来の紙による試験や口頭試験だけでは測定できなかった、実践的な力を評価できるシステムを用います。
- ③ プログラミング問題やデータ解析問題においては、受験者の解答プロセスも保存され、自動採点の評価に加味できるようにします。

文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業
（個別大学の入学者選抜等におけるCBTの活用）（令和4年度～）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1397824_00006.htm

シンポジウムの趣旨

シンポジウムでは、本事業におけるCBT入試の実施方法や課題と今後、および、「大学入学者選抜におけるCBTの活用の推進に向けた連携協力に関する協定」締結大学等の現在のCBT入試について報告・議論を行います。

また、電気通信大学において今年度実施いたしました、CBTを用いた総合型選抜および学校推薦型選抜に関する報告も行いますので、受験をお考えの高校生とその保護者および高等学校等関係者の皆様のご参加もお待ちしております。

プログラム

13:00 開会挨拶 電気通信大学 田野 俊一 学長

13:10 1. 電通大CBT入試の報告
電気通信大学 植野 真臣 教授

14:10 2. 電通大のCBT入試への期待と課題【パネルディスカッション】
公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 仁田 善雄 理事 学術顧問
早稲田大学 教育・総合科学学術院 澤木 泰代 教授
長崎大学 教育開発推進機構 アドミッションセンター 吉村 宰 教授
電気通信大学 植野 真臣 教授

15:20 3. CBT活用連携協定における連携大学の現在のCBT入試
①佐賀大学 西郡 大 教授・アドミッションセンター長
②神田外語大学 長田 厚樹 事務局長補佐
③独立行政法人大学入試センター 寺尾 尚大 准教授

16:50 閉会挨拶 電気通信大学 成見 哲 副学長
17:00 終了

会場

電気通信大学 アフブラックホールUEC（講堂）
所在地 東京都調布市調布ヶ丘一丁目5番地1
（京王線調布駅下車徒歩5分）

